



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 興石 信
令和6年度 第4号
2024. 5. 31

豊かな体験を通して豊かな心を、抱っこ体験、防犯安全講話

<赤ちゃん抱っこ体験（3年生）>

3年生が、5月15日(水)、21日(火)に「赤ちゃん抱っこ体験」を行いました。これは家庭科の保育学習の一環として、乳幼児に触れる機会の少ない生徒が赤ちゃんのありのままの姿に触れることにより、乳幼児に対する理解や愛情を育み、子ども取り巻く環境を考える体験学習として行ったものです。



体験はクラスごとに行いましたが、どの回にも5～6名のお母さんと赤ちゃんが参加し、班ごとに、赤ちゃんを抱っこしたりおもちゃで遊ばせたり、母親から話を聞いたりしました。私も授業の様子を見ましたが、初めはどう接していいか戸惑っていた生徒も、時間が経つにつれ、不思議に笑顔に変わり、優しい顔つきになっていくのが印象的でした。



<生徒の感想です>

「実際に抱っこしてみたらちゃんと動いたり体温があって、ちゃんと生きているんだなあって感じた。また、赤ちゃんのいろんなことを(赤ちゃんの)お母さんに聞いても全てわかってあげていて、たくさんの愛情を注いでもらっているんだなあということが身にしみてわかったし、自分もそうだったのかなと改めて感じる事ができた。すごくむちむちしていてかわいかったです」

「赤ちゃんを抱っこしたり高い高いをしたりと、とても新鮮な気持ちになりました。そして自分もお母さんに抱っこされたりお父さんに高い高いをされたりと、親に囲まれ、少しずつ成長していったんだと実感できました」

「赤ちゃんはとても肌がつるつるでもちもちしていて、親の愛情がたくさん詰まって生まれてきてくれたんだと思います。自分もお父さんになったらたっぷりと愛情をあげたいです」

<体験に参加して下さった母親の感想も紹介します>

「生徒たちが一生懸命抱っこしてくれたり話を聞いてくれました。息子もたくさん抱っこしてもらえてよかったです。ありがとうございました」

「小学校教諭をしています。命の尊さを学ぶ機会の大切さを感じていました。今回生徒さんに抱っこしてもらい、少しでも命のあたたかさや大切さを実感してもらえればと思い、参加しました。ありがとうございました」

★ 生徒にとって、命のあたたかさに触れたり親の子どもに対する愛情を知ったり、また、ここまで自分を育ててくれた親に感謝するなど、多くの気づきがあり、普段の生活では体験することのできない大変貴重な機会となりました。

<防犯安全講話（全校）>

5月28日(木)の午後、防犯安全講話を行い、全校生徒が参加しました。講師として山梨県警察本部人身安全・少年課少年対策官の島口さんを招き、「インターネット、SNS、スマートフォンに潜む危険性」について学習しました。



<生徒の感想です>

「SNSは便利だけでなく、その裏でいじめが起きたり個人情報さらされたりなど、危険なこともたくさんあることを知ることができました。私は今までネットを使っていじめをされたことがなくて、あまり実感がないけれど、いざとなった時には周りの大人や友だちに相談しようと思います」

「今回の話の中で一番印象に残ったのは、ネット依存症についてだった。私は今は依存症じゃなくても、もしなったら生活習慣がくずれ、家族など周りの人にも迷惑をかけてしまうので、絶対にならないようにスマホを使う時間を設定してルールを守って安全に使っていきたくと思いました」

★ 子どもたちは成長途上でまだまだ未熟なところがあります。ぜひ、どの子も健全に成長し安心して生活を送れるよう、各ご家庭でも、スマホとの接し方について子どもと話題にしてください。よろしくお願いいたします。